

高圧ガス事故調査報告書（事業者用）

報告年月日： 年 月 日（ ）		報告書作成者：	
発生日時		年 月 日（ ） 時 分	
気象		天気 温度 °C 湿度 % 風向 風速 m/s	業 種： 1 石油精製 2 貯蔵基地 3 石油化学（エチレンセンターを含む） 4 一般化学（肥料、合成繊維を含む） 5 製鉄所 6 鉄工所 7 機械 8 電気 9 自動車 10 食品 11 紙・パルプ 12 窯業 13 建設 14 運送 15 その他（ ）
事故発生場所	区分	1 事業所内事故 2 事業所外事故	
	事故発生場所	所在地： 名称： 電話	
	連絡先氏名	（所属） 電話	
規制対象別	1 製造事業所 2 冷凍事業所 3 充填所 4 スタンド 5 販売所 6 貯蔵所 7 導管 8 移動自動車 タンクローリ E 鉄道 E 枠組み（カードル） 船舶 バラ積み 9 消費先 10 特定高圧ガス消費者 11 容器検査所 12 その他（ ）		
	事業所規模 （処理能力・貯蔵量）		
事故発生区分	災害現象 （主◎副○）	1 爆発 2 火災 3 噴出漏えい 4 破裂・破壊等 5 喪失・盗難 6 その他（ ）	
	区分	1 平日 2 休日 3 事業所休日	
		1 運転中 2 工事中 3 停止中 4 スタートアップ 5 シャットダウン 6 エマージェンシーシャットダウン 7 荷役中 8 消費中 9 移動中 10 その他（ ）	
	1 自社	2 関係事業所 所在地： 名称：	備考
事故の概要（事故に至る経過を含む）：別紙			
ガスの種類及び名称 I 可燃性ガス 1 アセチレン 2 エチレン 3 液化石油ガス 4 塩化ビニル 5 水素 6 ブタン 7 プロパン 8 プロピレン 9 メタン 10 その他（ ） II 毒性ガス 1 亜硫酸ガス 2 塩素 3 その他（ ） III 可燃性毒性ガス 1 アンコニア 2 一酸化炭素 3 クロメルチル 4 酸化エチレン 5 シアン化水素 IV 支燃性ガス 1 空気 2 酸素 3 その他（ ） V 不活性ガス 1 アルゴン 2 炭酸ガス 3 窒素 4 ヘリウム 5 その他（ ） VI その他 1 混合ガス（ ） 2 エアゾール（ ） 3 特殊高圧ガス（ ） 4 その他（ ）			
ガスの状態	1 液相 2 気相	1 常圧 2 加圧	1 低温 2 常温（5～35℃） 3 高温
製造設備等の概要	名称： 能力： 容量： 稼働率： % ガスの状態： 常用圧力 Mpa 常用温度 °C	消費設備等の概要	容器の容量及び容器本数： ガス Kg (m³) × 本 ガス Kg (m³) × 本 ガス Kg (m³) × 本 容器と火気との距離： 逆火防止器の有無： 有 ・ 無

設備設置後経過年数	設備の最近のシャットダウン検査後の経過年数	設備の最近の運転中検査後経過年数
1 新設試運転中	1 1週間未満	1 1週間未満
2 1年未満	2 1週間以上1月未満	2 1週間以上1月未満
3 1年以上3年未満	3 1月以上3月未満	3 1月以上3月未満
4 3年以上5年未満	4 3月以上6月未満	4 3月以上6月未満
5 5年以上7年未満	5 6月以上1年未満	5 6月以上1年未満
6 7年以上10年未満	6 1年以上2年未満	6 1年以上2年未満
7 10年以上15年未満	7 2年以上 () 年)	7 2年以上 () 年)

設備区分		
I 塔槽類		1 加熱炉 2 反応器 3 蒸留器 4 熱交換器 5 分離器 6 中間貯槽 7 貯槽 (a 球形貯槽 b 低温貯槽 c 枕型貯槽 d その他 ()) 8 コールド・エバポレータ 9 その他 ()
II 回転機器		1 ポンプ 2 圧縮機 3 送風機 4 その他 ()
III 配管・接手		1 配管 2 接手 3 弁 4 その他 ()
IV 附属設備		1 安全装置 2 緊急遮断弁 3 警報設備 4 緊急脱圧設備 5 液面計 6 圧力計 7 温度計 8 流量計 9 断熱材 10 その他 ()
V 特殊反応設備	種類	1 アンモニア二次改質炉 2 エチレン製造施設のアセチレン水添塔 3 酸化エチレン製造施設のエチレンと酸素又は空気との反応器 4 シクロヘキサン製造施設のベンゼン水添反応器 5 石油精製における重油直接水添脱硫反応器 6 石油精製における水素化分解反応器 7 低密度ポリエチレン重合器 8 メタノール合成反応器
VI 冷凍設備	種類 部位	1 レシプロ型 2 ターボ型 3 ロータリー型 4 スクリュー型 5 吸収式 6 その他 () 1 圧縮機 2 凝縮器 3 受液器 4 蒸発器 5 液分離器 6 配管・接手・弁 7 その他 ()
VII 容器	種類 部位	1 タンクローリ 2 容器 3 エアゾール缶 4 タンク車 5 バルク 6 その他 () 1 本体 2 附属品 (a 元弁 b 安全装置 (安全弁を含む) c 緊急遮断装置 (緊急遮断弁を含む) d 配管・接手・弁 e 調整機 f その他) 3 その他 ()
VIII 溶接・溶断機器	部位	1 吹管等加工部 2 配管・接手・弁 3 容器 4 ホース 5 調整器 6 その他 ()
IX その他		

事故発生原因 (主◎、副○)	着火源
設備上の欠陥 1 設計不良 2 材料不良 3 制作上の欠陥 4 計装制御系統の欠陥 5 検査不良 6 外部衝撃 7 劣化 (腐食、磨耗、疲労、その他) 8 自然災害 9 その他 () 10 調査中	操作上の欠陥 1 誤作動 2 誤判断 3 情報提供の不備 4 認知確認のミス 5 技術未熟 6 操作基準の不備 7 指揮命令の不備 8 点検不良 9 補修不良 10 その他 () 11 調査中
	1 裸火 2 静電気火花 3 摩擦熱 4 逆火 5 その他 ()

事故発生原因の詳細：別紙

被害：
 人身被害その1：原因別 注：()内は第三者被害者数 (内数) を記載する。原因がその他になる場合は()内に記入すること。

原因	事業所内事故			事業所外事故			合計
	死亡	重症	軽症	死亡	重症	軽症	
中毒	()	()	()	()	()	()	()
酸欠	()	()	()	()	()	()	()
火傷	()	()	()	()	()	()	()
裂傷	()	()	()	()	()	()	()
衝撃による被害	()	()	()	()	()	()	()
その他 ()	()	()	()	()	()	()	()
合計	()	()	()	()	()	()	()

人身被害その2：対象別 注：被害者が下請け企業等に所属するときはその旨を備考欄に記載する。

	死亡、重症、軽症の別	氏名	年齢	性別	職名 (第三者の場合は職業)	距離	傷病名	備考
事業所内	当事者							
	第三者							
事業所外	当事者							
	第三者							

物的被害

		建造物、機器類等の名称	距離 (m)	被害の内容	損害額 (千円)	備考
事業所内	当事者					
	第三者					
事業所外	当事者					
	第三者					
合計						

許認可関係	保安検査	行政措置
届出 : 年 月 日	定期自主検査 : 年 月 日	使用停止命令 : 年 月 日
許可 : 年 月 日	保安検査 : 年 月 日	使用停止命令解除 : 年 月 日
完成検査 : 年 月 日		操業再開 : 年 月 日
直近の完成検査 : 年 月 日		改善命令 : 年 月 日
直近の完成検査 : 年 月 日		関係条項 : 年 月 日
事業者側でとった措置・対策		
その他 写真・図面・資料等		

1 事故の概要（事故に至る経過を含む）

2 事故発生原因の詳細